

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第24号
2012年5月16日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 D.C.会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

国鉄・橋下・被災地・原発で 新自由主義攻撃をうち破る 6・10全国集会に結集を！

当たり前前の労働運動を

富士地区労働組合会議長 前嶋 登

労働者がクビを切られたら解雇撤回・原職復帰を企業に求めるのが労働者の当然の権利であるはずが、行政も解雇撤回の強い指導をせず金銭解決の方向に労働者や企業を指導し早期一件落着を計る動きに、クビになった労働者は、一体誰が本当の労働者の味方を知りたがっています。

千葉動労のみなさんの闘い

JR西日本・山崎元社長の無罪判決弾劾！ 尼崎事故7周年集会かちとる



380名が結集し、尼崎事故7周年を弾劾し、6・10全国集会の成功を誓った

毎回のくり返しではありませんが、共和国のロケット発射実験や小沢議員の判決を期待した過熱報道に国民の目をそらさせ、その水面下では原発再稼働、大衆増税へのシナリオづくりが進められていたがロケットも小沢判決も思惑が外れた結果になり、もくろみが国民の前面に出てきたところです。

いま政治に求められているのは、震災特需利権に振り回されることなく復興の手立てが必要であるのに世間一般常識をかけた離れた電力会社経営陣の高給

JR尼崎駅北口広場(兵庫県尼崎市)において4月21日、動労千葉と国鉄闘争全国運動・関西準備会呼びかけで尼崎事故7周年弾劾の集会が開催されました。



全国から380名が結集し、JR西日本の山崎元社長に対する無罪判決に怒りを燃やし、あらためて国鉄分割・民営化と新自由主義攻撃による労働者への攻撃に対して職場からの組織化組織拡大で反撃に打ち上ることを確認しました。

4月29日未明、群馬県の関越自動車道でツアーバスの大事故が起き、乗客7人が死亡、運転手が逮捕されました。

●国鉄闘争全国運動6・10全国集会
6月10日(日)午後1時(12時半開場)
文京シビックホール
(主催) 国鉄闘争全国運動

6・10に向け呼びかけ人会議

国鉄闘争全国運動は4月29日、呼びかけ人会議を開催し、6・10集会の内容について議論しました。

会議では、①新自由主義への対抗軸となる全国運動の飛躍をかけること、②国鉄・橋下・原発・被災地を焦点に新自由主義に反撃すること、③闘いの中から階級的労働運動の路線を形成すること、④職場・地域で当面2000口の会員をめざして闘うことと一致しました。

呼びかけ人の佐藤功一さん(元国労横浜支部執行委員・国労新鶴見操車場分会長)は新自由主義との闘いを軸に「全国運動を60年安保闘争のような大闘争にしよう」と訴えられています。労働者を先頭に、農民、漁民、原発で闘うお母さんたち、あらゆる怒りを6・10集会に集め、全国運動の新たな闘闘宣言を発しましょう。

以下、呼びかけ人の発言を一部紹介します。

◇手嶋浩一(元国労九州本部署長)
九州の反原発闘争の中で若者と国鉄闘争全国運動の話になった。福島原発事故の原点が国鉄分割・民営化だったという話をしている。分割・民営化も原発建設もどちらも中曽根の政策だ。労働組合破壊・国労つぶしと原発、これとの闘いを全国運動のひとつの柱にするべき。

◇長谷武志(全金本山労働組合)
3・11福島県民大集会と全国運動に全金本山として参加した感動は同じ。「新自由主義との対決」でひとつになった。

◇伊藤晃(日本近代史研究者)
新自由主義とは、資本家たちが国家暴力を背景に人間の誇りを

「全国運動を60年安保のように」 「大阪・橋下に対する大闘争を」

。新しく「国民」というものをつくりだし、多数派を形成しようとしている。「脱原発」などもうまいやり方。そこに議論を持っていくって多数派をつくらうとしている。ここに亀裂をつくり出すことだ。まずは橋下に対する物事をはっきり言うことがからはじまる。

◇花輪不二男(世田谷地区労働組合協議会顧問)
労働千葉の闘いに続くにはどうしたらいいか。労働組合らしい生き方を求めるにはどうすればいいかを探し求めて「鈴コン闘争」に巡り会い、惚れ込んだ。

◇鈴木達夫(弁護士・法政大学弾正裁判所長)
労働千葉の運転士登用差別の裁判で最高裁は逆転判決。「司法権のみが秩序の維持の柱」と位置つけた戦前のような状況になっかけている。小沢が橋下と組み始めたり、JALをめぐる判決もめっちゃくちゃ。異様な感じになってきている。

◇入江史郎(スタンダード・ウェアキユーム石油自主労働組合委員長)
大阪・橋下に対する闘いをやるとうというの賛成。港合同の大和田さんの「遺言」も橋下への怒りであったと聞いている。

◇葉山岳夫(弁護士・労働千葉顧問弁護士)
全国運動を新自由主義と対決する大運動に。労働千葉の闘いを先頭に、あらゆる闘いの経験を共有することだ。その土台はできつつある。

「4・9政治和解」を拒否し、闘う国労の4人の闘争団員を原告とする組合員資格確認請求訴訟の第3回口頭弁論が5月9日、東京地裁民事第11部(白石哲裁判長)で開かれました。

「組合員資格はJR各社等被告の組織対象企業と雇用関係にあることが基本的な前提とされている」「闘争団員は納入すべき組合費について特別扱いを受け、かつ一般組合員からの経済援助を受ける等して闘争を継続してきた」というのです。

国労本部は90年4月の清算事業団による解雇の時点を闘争団員は組合員ではなくなるはずだったが、恩恵として組合員資格を与えてきたというのです。

これは歴史の偽造です。あらかじめ解雇撤回が出来ないことを予定して闘争団員・家族は20年にわたって闘っていたというのでしょうか!

1047名のほとんどは国鉄分割・民営化反対を貫き、最後まで屈服せずに闘い抜いた現場組合員です。「仲間を裏切ることはいけません」と闘い、自らのこ

とだけでなく労働運動全体、労働者全体の利害にたつて「解雇撤回・原職復帰」を先頭で、国労の誇りを守り抜いて闘ってきた組合員です。

国労本部の言い分は国労の闘い、歴史とこれまでの支援・共闘をすべて踏みとじるものであり、闘争団員にすべて責任を押しつけてJR資本と政府と闘わない自らを合理化し正当化しようとすることは絶対に許せません。

次期期日は7月18日です。みなさんの結集をお願いします。(事務局)

報告 国労組合員資格確認請求訴訟

「国労を現場組合員の手で甦らせよう」

原告代理人は「連合に加入するため、国労として解雇撤回闘争を闘わないという意図が明らかになった。被告の主張はベテランであり欺瞞だ」と厳しく弾劾しました。

早期結審をたくらむ裁判長の思惑は吹き飛び、国労本部も原告側の求釈明に答えると言わざるを得なくなっています。

この訴訟は「労働組合とは何か」を真っ向から問う闘いであり、国労を現場労働者の手で甦らせる闘いです。鉄道運輸機構訴訟と共に、国労大会に向かう決戦攻防の力を握っています。

「組合員資格はJR各社等被告の組織対象企業と雇用関係にあることが基本的な前提とされている」「闘争団員は納入すべき組合費について特別扱いを受け、かつ一般組合員からの経済援助を受ける等して闘争を継続してきた」というのです。

国労本部は90年4月の清算事業団による解雇の時点を闘争団員は組合員ではなくなるはずだったが、恩恵として組合員資格を与えてきたというのです。

これは歴史の偽造です。あらかじめ解雇撤回が出来ないことを予定して闘争団員・家族は20年にわたって闘っていたというのでしょうか!

1047名のほとんどは国鉄分割・民営化反対を貫き、最後まで屈服せずに闘い抜いた現場組合員です。「仲間を裏切ることはいけません」と闘い、自らのこ

とだけでなく労働運動全体、労働者全体の利害にたつて「解雇撤回・原職復帰」を先頭で、国労の誇りを守り抜いて闘ってきた組合員です。

国労本部の言い分は国労の闘い、歴史とこれまでの支援・共闘をすべて踏みとじるものであり、闘争団員にすべて責任を押しつけてJR資本と政府と闘わない自らを合理化し正当化しようとすることは絶対に許せません。

次期期日は7月18日です。みなさんの結集をお願いします。(事務局)



国労本部のある新橋駅鳥森口で街頭宣伝(5月9日)

全国集会へぜひ速報の活用を

6・10全国集会に向けて、呼びかけ人の大野義文さん(元安芸労働基準監督署長)、宮城盛光さん(沖縄県北中城村議・元全軍労牧港支部)、清野和彦さん(元福島県教組委員長)のアピールを速報に掲載しています。国鉄闘争全国運動のホームページからPDFファイルで印刷できます。ぜひ活用下さい。

労働千葉 鉄建公団訴訟へ結集を

労働千葉の鉄建公団訴訟の判決日が東京地裁より指定されました。6月29日、午後3時です。国鉄分割・民営化によって行われた数多くの不当労働行為を闘いに葬り、1047名解雇撤回闘争を解体するような反動判決を絶対に許さず、外注化阻止闘争と一体で全力で闘いましょう。

全国運動速報

労働組合の団結と運動こそが新自由主義との闘いの中心に

6・10文京シビックホールに大結集を

速報は、国鉄闘争全国運動の中心機関として、労働組合の団結と運動こそが新自由主義との闘いの中心に、6・10文京シビックホールに大結集を呼びかけるための重要な役割を果たしています。速報の活用をお願いします。